

# インターネットを利用した上部消化管内視鏡検査における患者意識調査の検討

(苦痛のない安全な内視鏡検査を目指して)

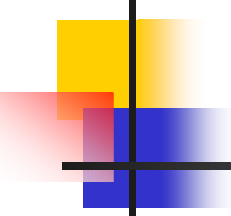
俊和会 寺田病院 胃・大腸肛門病センター  
寺田俊明, 鈴木智晴



## 【はじめに】

---

**鎮痛剤、鎮静剤等の静脈投与を使用しての上部消化管内視鏡検査(以下GF)は、その有効性と薬剤の使用に伴う偶発症の危険性などから賛否両論な意見が唱えられている。**



---

**賛成派：** 検査は楽に受けてたい(いくら上手な先生でも反射は必ず起きる)  
辛くない検査ならば定期的に受けることにより病気の早期発見  
が可能である

リスクと言っても、きちんと対策を練り対処すれば事故  
は防げる  
非検者が辛くないためゆっくりと十分に胃の中を観察できる

**反対派：** 安定剤の静脈投与による呼吸抑制などの合併症が問題  
薬をつかうと検査を終了した後に休む部屋が必要である  
(すぐに帰れない)  
上手な検者ならば楽に検査をすることができるのでなにも  
薬を使うことはない

# 【目的と方法】



- インターネット媒体『胃腸.JP』  
(<http://www.ichou.jp>)
- 期間：2004年3月1日～20日までアンケートに答えて頂いた742人(A群)の意識調査  
：2003年1月～10月までに当院で実際に鎮静剤の静脈投与下にGFを施行しアンケートに答えて頂いた822人(B群)  
を対象にその回答から安全かつ苦痛のない内視鏡を提供する方法を検討した。

# 【前投薬の使用レベル】

- レベル1: 前投薬は咽頭麻酔のみ (キシロカインビスカス)
- レベル2: 咽頭麻酔の他に 軽度の鎮静剤を使用
- レベル3: 咽頭麻酔の他に やや多めの鎮静剤を使用
- レベル4: 咽頭麻酔の他に かなり多めの鎮静剤を使用

鎮静剤: ・ベンゾジアゼピン系抗不安薬: diazepam もしくは flunitrazepam  
・麻薬性製剤: 塩酸ペチジン

当院ではレベル3: ・ flunitrazepam (サイレース0.4 ~ 0.6mg)

・ (場合によって) + 塩酸ペチジン (オピスタ  
35mg) 静脈麻酔剤: propofol

## 【準備室と回復室】



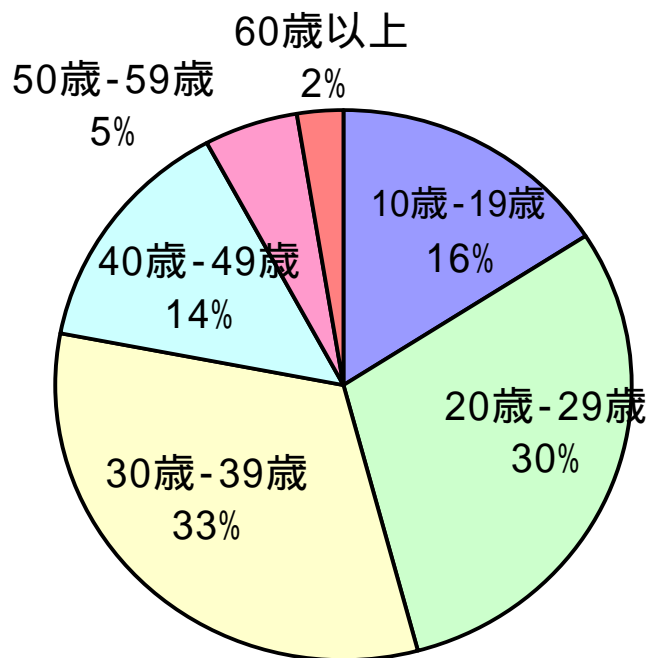
準備室にて内視鏡の説明ビデオを上映している



内視鏡終了後、約30分隣接の回復室にて休養していただく

# 【結果1】

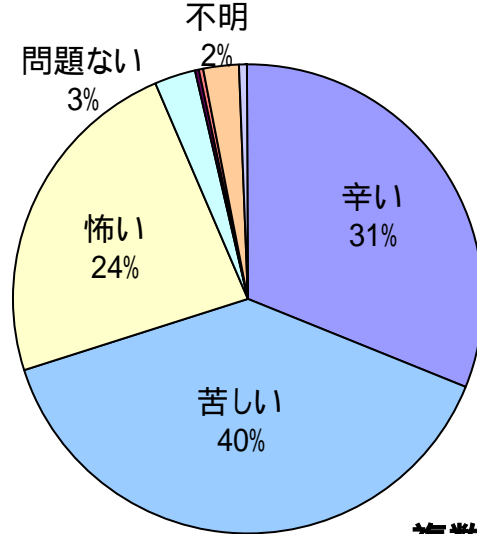
- A群:10歳～73歳(平均31.6歳)の742人  
男性:293人 女性:449人



10～19歳	119人
20～29歳	223人
30～39歳	244人
40～49歳	104人
50～59歳	37人
60歳以上	15人
計	742人

# 【結果2】

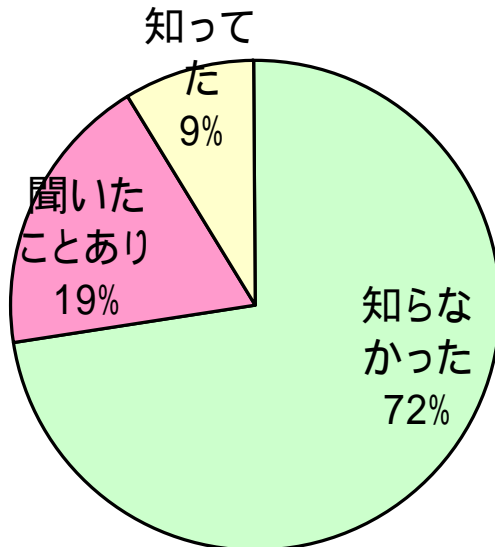
質問1 < 胃カメラ(GF)のイメージは? >



辛い	286人	30%
苦しい	359人	41%
怖い	217人	24%
なんてことはない	27人	3%
楽しい	2人	
楽(らく)	4人	
わからない(不明)	23人	2%
その他	4人	

複数選択あり

質問2 < 静脈麻酔を使用しての『胃カメラ検査』をご存知? >

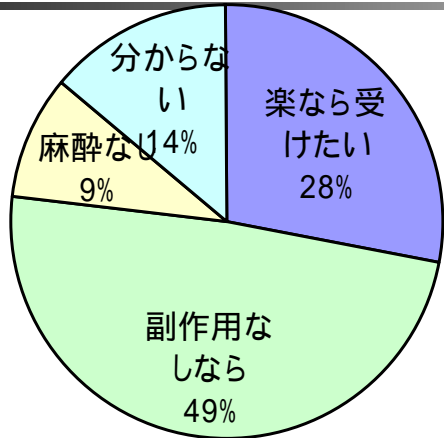


知らなかった	534人	72%
聞いてはいたが	141人	19%
詳しくは知らなかった		
知っていた	67人	9%
計	742人	



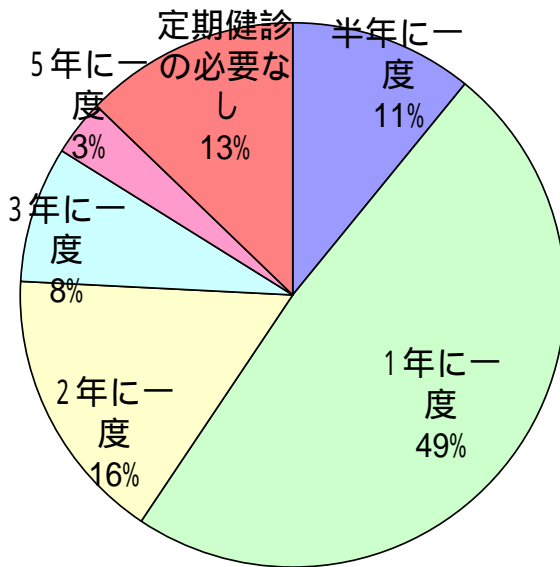
# 【結果3】

質問3 < 静脈麻酔を使用しての『胃カメラ検査』をどう思うか >



楽なら受けてみたい	208人	28%
副作用が心配ないなら受けてみたい	363人	49%
辛くてもいいので麻酔なしがいい	67人	9%
わからない	104人	14%
計	742人	

質問4 < 定期検査としての『胃カメラ検査』はどのくらいの間隔が妥当？ >

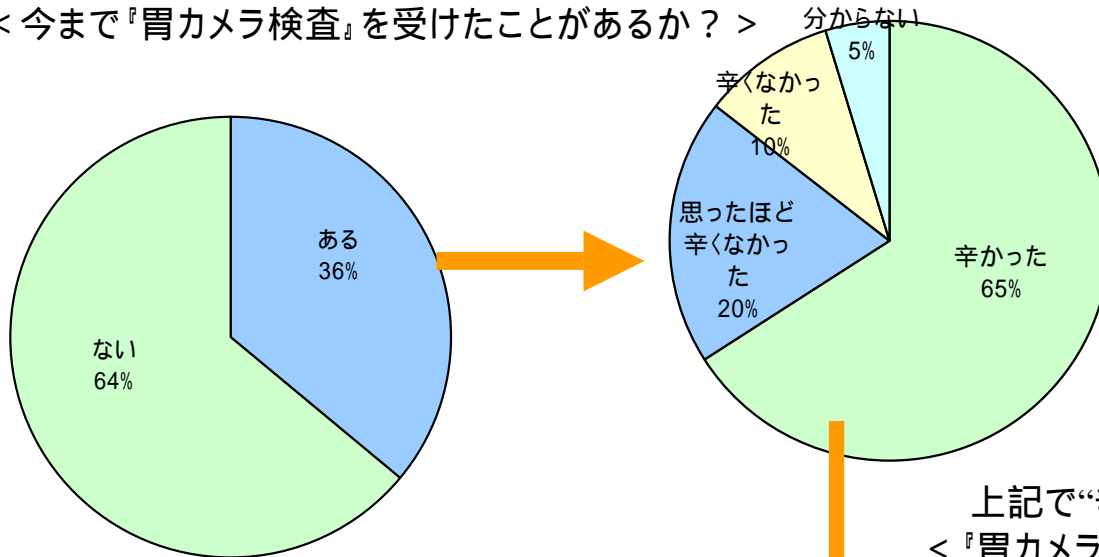


半年に一度	82人	11%
1年に一度	364人	49%
2年に一度	119人	16%
3年に一度	59人	8%
5年に一度	22人	3%
定期検査の必要なし	96人	13%
計	742人	

# 【結果4】

左記で“ある”とお答えの方に質問  
 < 質問6 『胃カメラ検査』はいかがでしたか？ >

質問5 < 今まで『胃カメラ検査』を受けたことがあるか？ >



ある	269人
なし	473人
計	742人

辛かった	174人	65%
思ったほど辛くなかった	54人	20%
辛くなかった	27人	10%
わからない	14人	5%

上記で“辛かった”とお答えの方に質問。  
 < 『胃カメラ検査』の何が最も辛かったですか？ >

すべてが辛い	46名
のどを通過するときの反射 (違和感)	82名
むせるのが辛い	30名
胃の中の異物感	8名
その他	8名

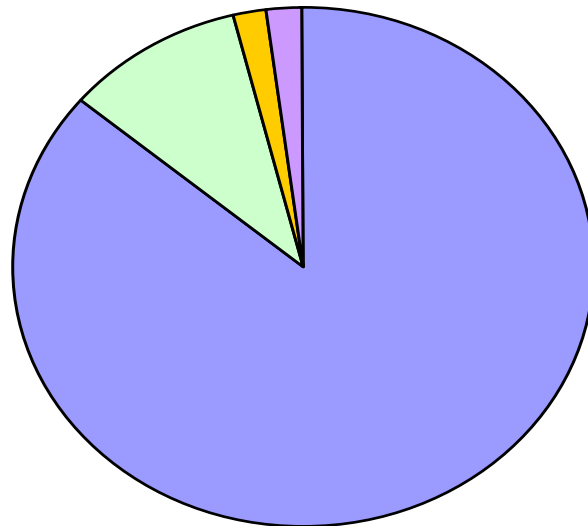
# 【結果5】

B群: 16歳 ~ 91歳 (平均48.3歳) の822人

男性: 388人 女性: 434人

に対して行った鎮静剤の静脈投与下

フルニトラゼパム (塩酸ペチジン) 使用でのGFの評価



- 楽だった 707人
- 普通 83人
- 次回は薬を使わないで欲しい 16人
- わからない 16人



# 【まとめ】

---

## アンケートの結果から

- ・被検者の多くは疾病の心配から定期的検査の必要性を感じているものの内視鏡検査を辛く苦しいものと認識しており 鎮静剤投与下の楽な検査を副作用の危険性が少なければ要望している。
- ・実際に鎮静剤投与した被検者には高い満足度が得られており、疾病の早期発見・治療の為にもこの方法が安全性を重視(鎮静剤の使用量・回復室の設置など)しながら広く普及していくべきと考える。